

リーダーシップとコミュニケーション研修会 受講者の感想 (2019.6.16) 回収率100%

	所属	役職	職種	①行動計画の作成	②コミュニケーションの基本	③組織におけるコミュニケーション	④指導するとは	その他
1	その他		ケアマネ	今回PDCAサイクルをしっかりと理解できましたが、数年前から取り組んでいるにもかかわらず、いつの間にか尻切れトンボになる理由が明確になりました。小さなことからでも良いPDCAでの考え方を駆使し、達成感を味わいたいと本当に思いました。	言語、非言語、表情全てが自分のコミュニケーション力としての大事なツールと再確認できました。これからも努力していきます。	報連相の大切さ本当に大事です。現場で徹底されていないで、何度も大変なことになる経験をしています。自身、報連相大事にしていこうと思いました。	信頼していただくだけの人間、人格磨きをしていかねばと思いました。日々の仕事や人間関係を丁寧に誠実にしていこうと改めて思いました。	
2	その他		リハ職	PDCAの回し方、計画の立てかたのポイントが分かりやすかった。	基本から仕事上でのコミュニケーションの事。信頼と報連相についてよく理解できた。		リーダーシップについてよく理解できました。	何より全体的にGWしながらまとめて行けたので、自分のことと比べながら研修を受けられてとても楽しく分かりやすい講義でした。ありがとうございました。
3	介護の施設・通所など		介護職	PDCAの基礎知識を知り、実際にグループディスカッションでノーリフティングケアに関する具体的な内容を知ることができた。	非言語コミュニケーションの大事さ、信頼の大事さ、見ている人は見ている、日々の言動、行動、対応などをもっと意識的に行っていこうと思った。		怒ると叱るの違いを知り、自分が部下を指導する時、「怒る」にならない様意識していこうと思いました。	介護事例のグループディスカッションそして、具体的に考える事ができ、次につなげようと思いました。
4	その他		リハ職	実際に作成するのに全員の意見を集約するのに時間がかかることを知りました。	非言語の大切さを改めて感じました。今後の行動にも気を配っていきたいと思いました。	具体的な行動(報連相)をいつも考える必要性を学びました。	リーダーとして色々な要因を考えなければいけない難しさ、視点を学ぶことができました。	佐々木先生、長い時間、熱く、分かりやすく、丁寧にありがとうございました。
5	介護の施設・通所など		リハ職	PDCAを上手く回せていなかったことを実感した。自分の事業所並びになリフト計画についても多くの方と話しながら進めていこうと思いました。	相手のことを考え、信頼されるようにならねば先に進めない事が分かった。	普段から報連相を意識して行っているが、不十分なことが分かった。不愉快な会話は逃げる。	感情だけでは、何も生まれない。モチベーションを上げる事が必要と分かった。	
6	介護の施設・通所など		介護職	各事業所での考えなど、作成方法など参考になったが、先生が話されていた様に時間がもっと欲しいと思いました。	相手の立場になる、相手のことを考えていくことが大切だと再認識できた。	リーダーシップについての意味、目指す形が分けやすく、勉強になりました。	伝える方法、怒ると叱るの意味を考えていくことの大事さを実感できた。	時間がもう少しほしかったとは思いましたが、とても勉強になりました。ありがとうございました。
7	その他	所長	福祉用具専門相談員	大いなる目的を細分化する必要があると思っていたので、とても良い機会になって良かった。また、全体で行う会議でしっかり提案します。	表情をいつも明るくすることを心掛けて行動しています。しかし、もっとブラッシュアップしていけると感じましたので、より人の心を動かすためには、どうしたら効果的なのかを追求していきます。	組織の中でリーダーとは？と考えながら持論でやっていました。参考になりました。	人材育成はいつでも大きい課題ですが、楽しく仕事ができ、モチベーションが上がる手助けをしていける様、より効果的に手を打ちます。	ありがとうございました。
8	介護の施設・通所など	管理者	介護職	未来(理想)の目標設定を行い、見直しを行っていくことの重要性の再確認ができました。	自分の言葉、態度で伝わる範囲、相手の理解する範囲を考えて、重要な事は何度も伝えていく様に心がけます。	部下に対する接し方、報連相の徹底を事業所で行っていきたくと思います。	モチベーション、生産性の向上、従業員の満足度を向上させていきたいと思っています。	今回の講義を受講できて自分を見つめなおす機会になりました。ありがとうございました。
9	その他			目標を薄れていたり、視点がずれていたところを修正でき、より明確にすることができた。PDCAサイクルを毎月回していくことを共有できて良かったです。	言葉が足りないコミュニケーションに不安を覚える事もあるが、非言語の割合の多さから考えると、総合的に考えていくと基本を知る必要があると思いました。	信頼関係の重要性を深く理解することができた。	信頼を得て、考えて行動する力を示すこと。仲間を増やすこと。	PM理論が両方ともマイナスpmだったのが、新たに自分自身を考え直す機会になりました。ただ理解しにくいところもあったので、自己分析として使うのは難しいと思いました。最後に解説していただいたので良かったです。数年前位に別の研修で同じような内容で受講しましたが、日頃見についていない所がよく分かりました。

10	その他		介護職、相談員	グループのメンバーが同じ地域だったので、地域の目標を考える事ができ、今後の動きにつながる。			モチベーションを上げる事が、良い指導につながる。	心理学からの資料など興味深くお話が聞けた。
11	その他		福祉用具専門相談員	今までわかっているけどできていないようなことがあったが、自分のどこに問題があるのか、今一度考えてみようと思いました。物事の考え方が分かりやすかった。	報連相ができていないときがあるので、なぜそれができていないのか、ネガティブにならずに考えたいと思いました。文字、言葉、言葉以外で伝わる量が全く違うというのはこれから意識したい。		これから指導者になっていく上での立ち振る舞いを考えさせられた。	PDCA、コミュニケーション、リーダーシップ、それぞれ個々の研修があれば受けたい。
12	その他	エリア長	福祉用具専門相談員	地域のグループ内の目標設定について、自身ではPDCAを回していたが、仲間たち、グループのメンバーとのすり合わせ、情報共有が足りていなかった。情報と想いの共有が仲間のつながりをより強固なものにできそう。	考えていたつもりだが、改めて認識することで、意識してコミュニケーションを図れそう。	相手との立ち位置を考えながら、どう組織作りをしないといけないのか、大なり小なり、コミュニティを考えながら、意識してコミュニケーションをとってみようと思った。	目標に向かって同じ方向を向けていなければ、指導も何もないと感じた。また、同じ方向を向いて様々な事を行うため、どう指導、関係性を気づかなければならないか、意識して行動したい。	とても素晴らしい機会をいただきありがとうございました。すぐ実践、行動します。
13	介護の施設・通所など		リハ職、ケアマネ、福祉用具専門相談員	目的、目標の立て方を分かりやすく理解できた。少し難しく考えすぎていたようです。	あいまいなものと考え、何を伝えるのかを考えなければいけないと思いました。逆にコミュニケーションについて気持ちが楽になりました。	情報の持ち方についてよく分かりました。	感情的になりがちですが、目的・目標に向かって仕事は行うと考えると、感情的になる理由もないと思いました。	PDCAについてよくわかりました。実践できるためにももう少し勉強したいと思いました。現場で実践してみ、課題を出し、また学んでいきたいと思います。
14	介護の施設・通所など		介護職	自分の視点のみでものを見るのではなく、多方面から物事を見ていくことが大切。	物を伝えるための道具。非言語、言語があるが6:4の割合で日とは言語以外の方が伝わる(視力より入る)。表情立ち振るまいに気をつけたい。	報告、連絡、相談、何のため、何をするための物が再考させられた。今後学んだ事を仕事で用いていきたい。	相手を尊重すること、同じ目線で話改善点を伝える。すばやく報告する。	
15	介護の施設・通所など		リハ職	計画の立て方が、数値化できていなかったもので、施設に帰って、もう一度立て直していこうと思いました。	報連相がしっかり行えていれば、相手とのコミュニケーションも上手くいきました。日頃の行動も見られていると意識し、行動していきたいと思えます。	まずは、あいさつを行う事もとても重要だと思いました。	常に全体をみていくことが大切だと思いました。	
16	介護の施設・通所など	特養責任者	ケアマネ、相談員	今回の研修に参加してPDCAにのっとった計画の作成を改めて共有する必要があると思った。	物事を進めていく上で、コミュニケーションがいかに重要であるか学ぶことができた。	私も上司との関係をきちんとし、組織としての対応を考えていきたいと思う。	上司に求められることを学ぶことができた。	ものすごくためになりました。このことは施設内で共有したいと思えます。ありがとうございました。
17	介護の施設・通所など		介護職	達成数値目標を立てる事がすごく難しいと思いました。地域のことまで考えると現実的な数値をどう出してよいかと悩みました。	非言語でのコミュニケーションで印象が変わったり、相手に話を聞いてもらえたり、話をするをやめさせたりするという事がよく分かりました。	報連相を怠ると時に重大な問題が起こってしまうことを再度確認し、何も行わないことが、一番悪いことがよく分かった。	結局のところと言うと信頼関係がないと指導できないのかなと感じた。	この内容を一日で終えるのは中に頭がついて行かない事も多くあった様な気がする。
18	介護の施設・通所など		リハ職	なぜ、PDCAサイクルをまわすのか、モチベーションを下げないために必要な事。棚おろし等の意味と方法が少し？わかりました。帰って振り返り、早速行動計画を立て、実行します。(職場の人と、明日、今後について相談することになっていますので)。	非言語コミュニケーションについてもっと注意を向けようと思えます。	相手が受けとりやすくなり伝え方、相談の前に自分の意見を整理しておく、など今から心がけます。	相手のモチベーションを上げる(下げない)ことについて考えていきたいと思えます。	ありがとうございました。実践します。

19	介護の施設・通所など	介護副主任	リハ職	改めて情報を共有する事、目標を共有する事の大切さを学ばせていただきました。言葉の一言一言の重みを感じました。同じメンバーでもとらえ方が異なっており、共有できていなかったと思います。	非言語の重要性、表情、態度、雰囲気の大切さを感じました。	報連相はあくまで情報共有の手段であること、あくまで情報共有が大切であることを感じました。	リーダーシップにおいて、自分に足りない所を気づかせてもらい、リーダーの資質にも気付かせてもらいました。	人に指導することの難しさを感じました。
20	介護の施設・通所など	科長	リハ職	具体的に…何をするのか…1か月みんな、個人で、そのところを決めないと決めて動かないと…ダメだなと実感しました。目的、目標を決めても、行動して、再評価して…そのサイクルをつくらないと動かないですね。	言語的、非言語的の所、あらためて確認できました。しわは増えますが、笑顔はたくさん…と思います。	信頼をどう作るのか…を直接的な関わりよりも、たぶん、どう行動しているのかが、より見られているだと思います。上手くないかと悩むよりも、自分の行動を振り返ってみようと思います。	伝えるだけでなく、伝わる事、やる気を引き出せるような指導を心掛けていかなければいけないですね。	
21	介護の施設・通所など		介護職	まだ、準備ができておらず、計画が組めない状況	情報共有するためにコミュニケーションは必要と改めて感じました。	問題を解決するためにもコミュニケーションが必要と改めて感じました。	情報収集や人間関係の構築などにも関わり、生産性にも影響を与える事を知りました。	今回の研修を入口に、資料を再度読みながら勉強したいと思いました。
22	介護の施設・通所など	管理者、主任	介護職	行動計画を立てる事が大変で大事な事だともう一度気づかされました。そしてPDCA難しさも分かった気がします。	人は皆さん1番最初に顔を見て判断するんだなあ自分もどうだなあと思いました。いつも口角を上げるように笑顔でいるよう心掛けたいと思います。人に伝える事は、言葉以外が大事な事も知ることができました。	いつも報連相大事なのでもう一度確認して職場に生かして行きたいです。	ダメな上司にならないよう、もう一度読み込んでやっていきます。	
23	介護の施設・通所など		リハ職	PDCAの落とし込みが、まだ全くできていないことが理解できました。また、組織の中で、継続的に終わりなく回していくことも理解できましたが、組織の中で、取り入れ方を考えなければ、いけないと感じました。	一度習ってましたが、忘れてることが多く実践できていないこと、反省しました。	信頼する、されることについて改めて考えさせられました。	モチベーションを作り出す、継続するのもコミュニケーションが必要と	①をもう少し詰めてやりたいです。